

2022年の台風15号により9月24日に発生した静岡市の洪水に関する報告

2022年の台風15号により、静岡市周辺は9月23日夜遅くから24日明け方にかけて猛烈な雨が降り、12時間降水量の日最大値では静岡市では24日5時50分までに404.5ミリ(統計開始1976年)を記録し、観測史上1位を更新した(静岡地方気象台, 2022)(図1a)。一方、23日23時から24日4時にかけては満ち潮にあたっており(図1b)、巴川の流下能力は低下した。この状況で、巴川とその支流の一部で越水が起き、床上・床下浸水が発生した。



洪水の空中写真が公表されなかったため、調査地点を事前選定ができなかった。そのため、北村(防災総合センター・センター長)は大谷川放水路より下流の巴川沿いを調査した。業務による時間制約と住民の迷惑にならないように自転車と徒歩で調査したので、浸水域全域は調査できなかった。浸水深の測定は、浮遊ごみの上端を最大浸水深とみなし、周辺の被害状況と確認した。

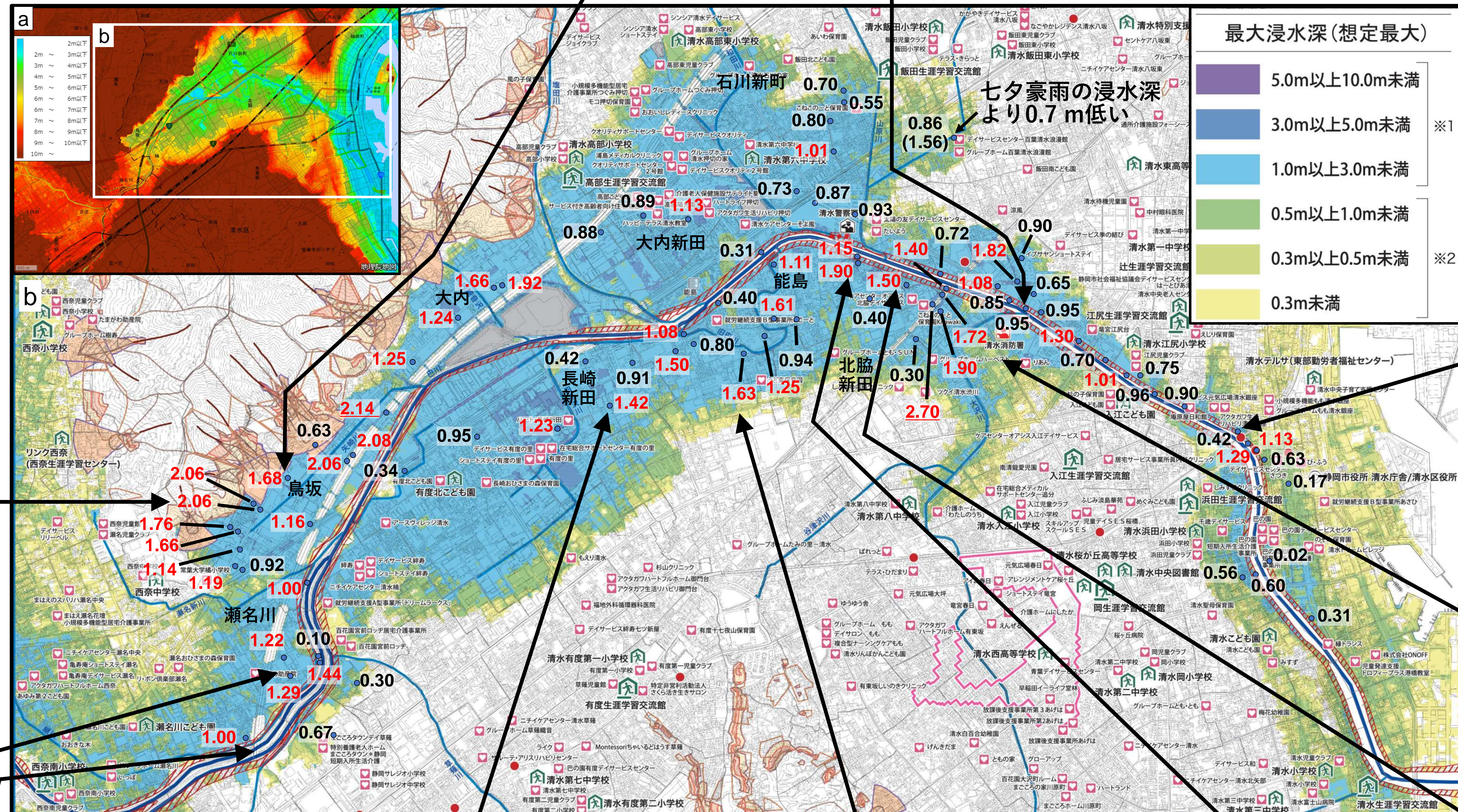
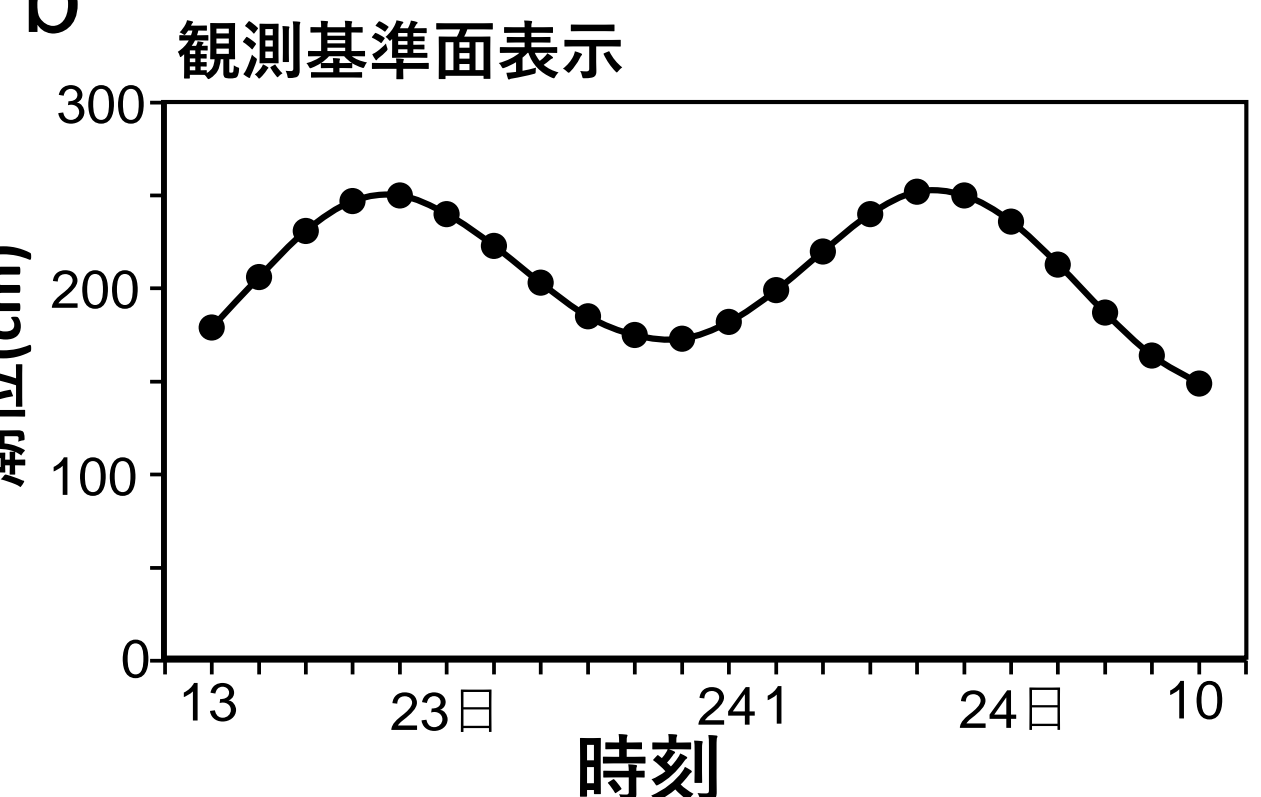
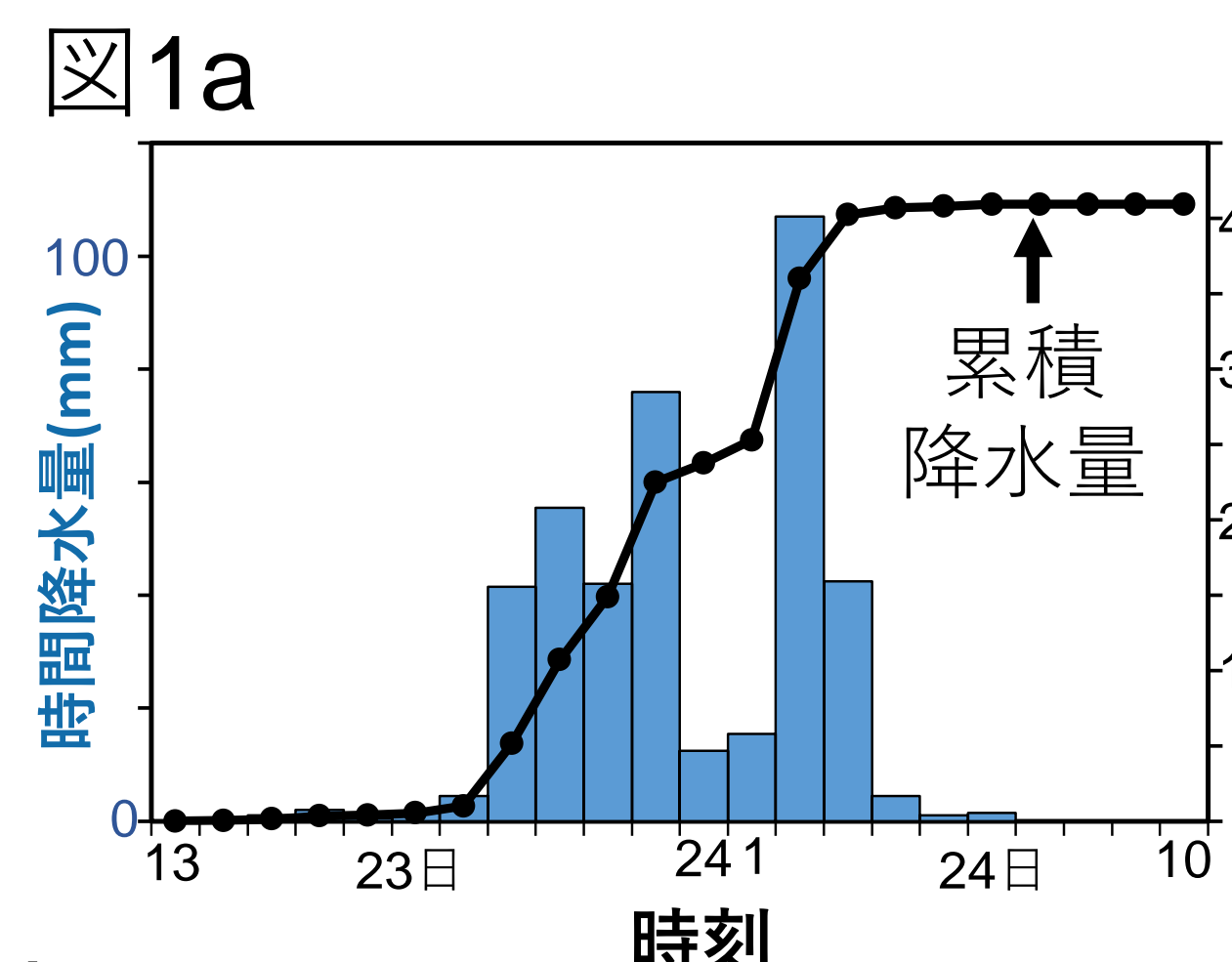


図2 洪水・土砂災害ハザードマップ
巴川・長尾川(清水区)
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000808103.pdf



調査地域の調査地点(青丸)の浸水深(m)。地図は洪水・土砂災害ハザードマップ(静岡市, 2022)。赤字は1m以上の浸水深の値である。浸水深の値に下線がついている地点はアンダーパスで周辺より低くなっている場所である。

